



文庫判

日本人として知っておきたい神道と神社の秘密

神道と神社の歴史研究叢編

ISBN4-8013-0579-3

税込750円

先人たちが導んだ教えとは？

神社の魅力をやさしく解説

鳥居のルーツは海外にある？ 絵馬は馬の生贄から始まった？ おみくじで神さまの機嫌を伺っていた？ 日本で一番古い神社には本殿がない？ ……など、神社と神道にまつわる知識を、いちからやさしく紹介。神道の特徴や神社のなりたち、参拝マナーといった、知っているようで知らない神社の基本を網羅。読後に神社を参拝すれば、これまで気づかなかった魅力を発見できる。…



文庫判

禁断の雑学 誰もが口を閉ざす衝撃の雑学250

黒い雑学研究会編

ISBN4-8013-0564-9

税込792円

恐怖の雑学解禁

電気椅子の開発にエジソンも関与していた

「東京「都」は戦争をきっかけに生まれた」「水を飲みすぎると中毒で死ぬ」「イエス・キリストの墓が日本にある？」「トランプを大統領にしないため魔女が大集合した」「小麦から幻覚剤をつくることできる」「アメリカの諜報機関によるヒトラー女化計画」など、知ると怖いけど気になってしまう250の雑学を紹介。日常的な事柄から、科学、事件、歴史、地理、各地の風習まで、幅広いジャンルを網羅した一冊…



文庫判

みんなが誤解している雑学

常識のウソ研究会編

ISBN4-8013-0555-7

税込750円

みなさん、誤解していませんか？

あなたの常識を覆す200の雑学

・インド料理に「カレー」という名前の料理はない・織田信長より先に天下を統一した武将がいた・水泳のバタ足は逆効果になる・ゴリラは「パー」で胸を叩いている・漢字の書き順に必ずしも正解はない多くの人々が誤解している雑学を「常識」「歴史」「文化」「人体・生物」「言葉」「スポーツ・エンタメ」の6ジャンルから200項目を紹介！日常の豆知識から、アッと驚く大誤解まで、自分の中の「常識」がひっ…



文庫判

日本の歴史や文化が見えてくる 名字の秘密

名字の秘密研究会編

ISBN4-8013-0554-0

税込750円

名字の秘密が明かされる！

北海道から沖縄まで あなたのルーツを探る

日本人の名字の種類はじつにバラエティに富んでいて、その数は30万種もあるといわれている。面白いのは、その名字の一つひとつに由来やルーツ、伝説があることだ。ふだん何気なく使っている名字だが、本書を読めば、いかに多くの情報を含んでいるかに気付くだろう。それぞれの由来や歴史については諸説あるものの、さまざまな逸話や歴史的事実に触れながら、自分や家族の生い立ちに思いをめぐらせていただい…



文庫判

さんねんな名言集

真山知幸著

ISBN4-8013-0526-7

税込750円

何をする気もないー石川啄木ー

だけど励まされる

歴史に名を残す偉人たちは、ネガティブすぎる性格だった？ 人間的には欠点が多く、社会人として、家庭人として、「失格」の烙印を押された偉人たち。それでもなお、人生を投げなかった結果、彼ら彼女らは輝かしい業績を残した。そんなさんねんだけど魅力ある偉人たちの名言の数々を紹介。読めば不思議と元気になる一冊。…



文庫判

本当に危険な立入禁止国家

歴史ミステリー研究会編

ISBN4-8013-0506-9

税込750円

「海外安全ホームページ」の地図で真っ赤に塗られた国では何が起こっているのか？
「危険国家」が抱える問題とその背景が見えてくる

世界地図を眺めると、この世界は広く、未知のロマンに満ちているような気分になる。しかしその世界地図が、外務省が提供している『海外安全ホームページ』のものだったらどうだろう。地図上で黄色に塗られた「要注意」の国や、真っ赤に塗られた「退避勧告」の国では、一体何が起こっているのか？ 事実上の「立入禁止国家」の実情を探る。…



文庫判

知っていると差がつく知的雑学 知識の博覧会

曾根 翔太 著

ISBN4-8013-0447-5

税込763円

宇宙で出産した場合、国籍はどこになる？

知っていると一目おかれる知的雑学が満載！

・2000円札は沖縄で使われている・トウモロコシの粒は必ず偶数・「トドのつまり」の「トド」は魚・エベレストの登山料は約100万円物事の多くには、知っておくとちょっと得をするような話があり、今まで見えていた「当たり前」の部分には、隠れた刺激的な情報があるのです。そんな、知っておくためになる博学知識を紹介。これまで目を向けてこなかった世界を垣間見ることができ一冊です。…



文庫判

標準語に訳しきれない方言

日本民俗学研究会 編

ISBN4-8013-0441-3

税込713円

便利な言葉なのに標準語に訳せない！

意味が限定的すぎる謎の方言の数々

「かちゃくちゃね」「えづくろしい」「ぬちぐすい」……一言で言い表せない感情や状況などを的確に言い当てた言葉というのが、方言の中にはある。英語に「木漏れ日」という言葉がなく、「森林の木の葉の間から日差しが漏れる光景」などと言うしかないように、日本の方言にもそういった例が数多く存在することだ。簡潔に説明できそうな言葉でも、複雑で細かいニュアンスを含んでいることがあり、一単語で…



文庫判

日本語150の秘密

沢辺 有司著

ISBN4-8013-0427-7

税込730円

複雑で不思議で美しい日本語の謎を解き明かす

「五十音図」なのに45文字しか仮名がないのはなぜ？

「ニッポン」と「ニホン」どちらが正しい？ 敬語の「ご確認ください」って間違い？ 「おいそれと」の「おい」と「それ」って？ 漢字が廃止されかねない危機があったなぜトランプを「切る」と言うのか？ ……よくよく考えてみると、日本語は複雑で不思議な言語である。日本語の「なぜ」はつきない。なぜ「五十音図」が生まれたのか、なぜこれほど多彩な方言があるのか、なぜ当用漢字や常用漢字があるのか、なぜ…



文庫判
図解 いちばんやさしい三大宗教の本
沢辺 有司著
ISBN4-8013-0357-7
税込734円

仏教、キリスト教、イスラム教…

三大宗教を知れば、世界がわかる！

世界情勢を伝えるニュースを見ていると、重要なキーワードとして「仏教」「キリスト教」「イスラム教」の三大宗教が登場することがある。世界の政治や経済にも大きな影響を与える三大宗教だが、どのような教義を持っていて、どのような成り立ちをしているのか、そして信者はどれくらい、どの地域に存在しているのかなど、すらすらと説明することができる人は多くはないだろう。本書では、三大宗教の基本をわかり…



文庫判
教科書も間違っていた 歴史常識のウソ
常識のウソ研究会編
ISBN4-8013-0339-3
税込713円

知らないやバい歴史の新常識

そんなことまでウソだったの？

歴史教科書の内容がこの20～30年間で大きく変わっているというニュースを聞いて驚いた経験のある方もいるのではないだろうか。今まで「源頼朝」だと教えられてきたあの肖像画に描かれているのは別人だった、教科書で「鎖国」という用語が使われなくなった……など、これらの新事実をよく知られている。ところが、歴史教科書を一步飛び出したところにも、我々が勘違いしている「歴史常識」があふれているの…



文庫判
今すぐ話したくなる知的雑学 知識の殿堂
曽根 翔太 著
ISBN4-8013-0333-1
税込763円

厳選雑学を300個収録！

話のネタに困ったときに役に立つ

・カーディガンは戦争から生まれた・名前が書いてある紙のになぜ「名刺」？・ネコに魚を与えてはいけない！？・始球式で空振りをする理由・暗いところで本を読むと目が悪くなるのは嘘？身近なモノの起源や日常生活で役に立つ知識など、誰かに話したくなる知的雑学を厳選。会話のネタに困っている、いろいろな知識を吸収したい、純粋に「なるほど！」と思いたい人まで、多くの人におすすめの一冊です。…



文庫判
封印された問題作品
沢辺 有司著
ISBN4-8013-0273-0
税込713円

禁断の扉を開けた問題作品を収録

撮影中の死亡事故、猥褻文書扱い、贋作絵画…

時計じかけのオレンジ、ザ・コーヴ、イマジン、暗い日曜日、叫び、ゲルニカ、巨人、悪魔の詩、わが闘争、ちびくろサンボの物語……古今東西の映画、音楽、書籍、絵画から、トラブルに巻き込まれて封印された問題作品を紹介。…



文庫判
知ったかぶりで恥をかく常識のウソ
常識のウソ研究会編
ISBN4-88392-675-6
税込628円

信じていたらウソだった！常識の“新”常識

水戸黄門は全国を旅して歩いたフランケンシュタインは怪物の名前酢を飲めば体が柔らかくなるビールは太る……これらはみんなウソ！当たり前だと思っていたことは実はウソだった！？古今東西の常識のウソ100連発！好評既刊「知ったかぶりで恥をかく常識のウソ」が最新情報満載の新装版で登場！…



文庫判
あなたの知らない知識の博物館
世界の雑学研究会編
ISBN4-88392-668-8
税込628円

雑学本の決定版！

古今東西の雑学を350収録

「酢を飲んでも体は柔らかくならない」「テレビのチャンネルはなぜ1つごとに砂嵐？」「初めて性転換手術を受けたのはどんな人？」「『カフェラテ』と『カフェオレ』の違いは？」「人間を貸し出す図書館がある！？」など、古今東西350の雑学が集結！…



文庫判
トンデモ事件簿
トンデモ事件研究班編
ISBN4-88392-580-3
税込628円

世界で起こったトンデモ事件が満載

世界では日々、数えきれないほどの事件が起こっている。しかし、人々に知られていない事件は多い。マスコミは大きな事件を取り上げることに精一杯で、小さな事件は切り捨てられてしまうのだ。そんな表舞台に出てこない事件には、興味深いものがたくさん転がっている。本書に収めたのは、世界で起こったさまざまな事件から厳選した、第一級の「トンデモ事件」ばかりである。中には「本当にそんなことあったの？…



文庫判
世界はじめて物語 最初は誰？
世界の起源研究会 編
ISBN4-88392-569-2
税込628円

気になる習慣や身近な道具の「はじめて」に大接近！

「最初」に迫る雑学本

気になる習慣のルーツに迫る【元祖編】最初に甲子園の土を持ち帰った人は誰？初めて切腹した人は誰？最初にボーナスを出した会社はどこ？最初にお年玉つき年賀状が発売されたのはいつ？…など身近な道具のルーツに迫る【発明編】カッパは威厳のための必需品だった？コンタクトレンズの原理はダ・ヴィンチが見つけた回転寿司のヒントはビール工場にあったエレベーターは紀元前から存在していた…など…